

てんざ

新聞

15.6.No.216
発行 木田 武夫
責任 木田 武夫
0883-885292

山歩きのリーズ(に)なり、ぶらりと山へ行くのはいいけど、それゆりの心がまてはくこほしいとのがす。
五月に、一人登山に来る道に迷ったと連絡があり、当然ながら連絡をとりにながら救助にむかう。夕暮れ近くなり、発見。
ひと安心、数日後救助に向かう。二人がう話を聞いとびつくり、70代の女性で、長靴、ボツボツとびげごうがす。口んご、どうしてか、



磐石、深淵線

山ありきありこ

今どきの登山者のスタイルではない。そこで、無事合流したこと、疲山の休ませると何回も言うて、無事下山したのが、夜中の土時半、ひととす、いい登山者、どうしようか。
仕事でも山歩きをくこりませ。登山ガイドではひく、森林管理署のお手伝い。昔の森林署です。杉松の植林地の保養、調査などです。
ひかひかおきこいごすよ。
に、山野草をはじめ、植物類が其内に多いのが気になります。にまに、発見があつたりします。
動物のフコはよく見かけますが、当人たちにほひかひか出逢えません。というか、先に気がつき逃げこくようがす。
持論、山登りも好きごすから、三頭、天狗塚、剣山をはじめ、祖谷の百山峰にも登ります。一人の時あれば、二ス、三スの時もあります。久し振りに登る山では、林道がすく近くまで通つていりこく、ガッカリする事もあるり、どうも何かをでんごる様ひ人に出逢つてりもします。
いご入行つても、人の足あとがあり、人間の果す役割の大半さといつか影響というものを強々感ひここまいます。

天狗塚にさ登りまこく、頂上から、宇の背方面を眺めると、白りました、がせの草の色が、遠くまで、あめさこい線りか、トク、色あせこいる様ひです。これは、鹿のすか、湿度がすか、それと、その他に理由が



ニは 動物園?

野性の動物は、人間を見れば、まめ逃げます。所が、先日、剣山に登る時があり、西島のリス駅から大剣神社の方へ向え、十メートル歩いた時、登山道から十メートル先の所に鹿が、所が、平気ご植物を食べ続けこる。初達が、手を出こも動いて、平気、ニは、自然動物園になつたのか、って。